

平成16年度第2回京都市図書館協議会・摘録

○ 日時 平成17年3月24日(木) 午後1時～2時30分

○ 場所 京都市生涯学習総合センター 3階 第4研修室

○ 出席委員 [10名中8名出席]

太田 亮子 委員

迫田 照男 委員

島津 吉弘 委員

永井 麻里 委員

原田 憲一 委員

松井 真由美 委員

向井 純子 委員

山岡 祐子 委員 (五十音順)

○ 傍聴人数 0名

1 開会

- ・梶村中央図書館長からの挨拶

2 報告事項

- ・事務局から以下の項目について説明した。

(1) 平成17年度新規予算について

①右京中央図書館(仮称) 先行購入

右京中央図書館(仮称)では、京都に関するあらゆる資料・情報を幅広く網羅した「京都大百科事典コーナー」を設置する。そのため、今後の入手が困難となる京都関係図書・資料を平成17年度から平成19年度までの3ヵ年計画で重点的に先行購入する。

②夜間開館の拡大

現在13館で夜間開館を実施しているが、平成17年4月下旬から岩倉図書館、東山図書館において夜間開館を実施する。両図書館では利用状況や交通状況を考慮して月曜日と木曜日の開館時間を19時までとする。

③ボランティアの導入

現在、対面朗読や絵本の読み聞かせ等の行事をボランティアの方にご協力いただいているが、これに加えて、平成 17 年度から書架整理や利用者案内等のボランティアを中央図書館において試験的に導入する。これは生涯学習の機会創出や市民とのパートナーシップの構築をめざしており、図書館への理解拡大や利用促進につながることを目的にしている。

(2) 平成 16 年度利用状況について

前年度同時期と比較して、貸出人数、貸出冊数ともに増加した。

(3) 図書の特別整理（蔵書点検）について

利用者サービスの向上を図るため、昨年度から全館で図書の特別整理（蔵書点検）を実施した。

(4) 平成 17 年度「子ども読書の日」記念事業について

4 月 23 日から 4 月 29 日まで「子ども読書の日」記念事業を各市立図書館で実施し、講演会や絵本の原画展、「読書えはがき」の展示、読み聞かせ等のおたのしみ会を行う。

(5) 右京中央図書館(仮称) 市民アンケートについて

平成 19 年度に開館予定の右京中央図書館(仮称)建設にあたり、行政主導ではなく市民の意見を反映させた図書館づくりを行なうため市民アンケートを実施した。約 7 千部のアンケートを配布し、851 の有効回答が得られた。結果がまとまり次第広報発表し、図書館のHPでも公表する。

3 主な意見・質問等

<ボランティアについて>

ボランティアへの参加は時間に余裕のある祖父母の世代の方に働きかけたらよいのではないかと思う。また、学生にボランティアへの参加を呼びかけて、学生が子どもにふれあえる機会を設けるよいと思う。

(事務局) 図書館で実施している事業についてはすでにいろいろな方に協力していただいている。今回導入するボランティアは、現在、こどもみらい館や深草図書館で行われている

書架整理や本の修理,配本といった図書館の日々の運営に協力していただける方を考えている。

<「子ども読書の日」記念事業について>

「子ども読書の日」記念事業の実施期間を4月だけでなく夏休みや冬休み等学校が休みの時に実施するなどして1年を通して実施したらよいと思う。

(事務局) どの図書館でも定期的に読み聞かせ等のお楽しみ会を実施している。また読み聞かせ講座も開催しているのでこれらの機会を活用していただけたらと思う。

「子ども読書の日」記念事業は対象年齢が低いようだが小学生向けの行事も実施してほしい。

(事務局) 「子ども読書の日」記念事業に来られるのが、保護者が幼児を連れてくる場合が多いので幼児対象のものが多く、小学生でも十分楽しめる内容だと考えている。

<右京中央図書館(仮称)について>

右京中央図書館には京都大百科事典的機能を担わせるとのことだが、先行購入の選定基準はどのようなものなのか?

(事務局) 現在も中央図書館の参考図書室で収集しているが、京都に関することなら、何でもわかるよう、時代的整理をして収集の幅を広げる方針だ。また、レファレンス等の内容の向上も図りたいと考えている。さらに、他の施設にある本がどこにあるのか調べられるよう中継点的機能の役割も担えればと考えている。また、購入するだけでなく、家庭に眠っている京都に関する貴重な資料も市民に呼びかけて収集したいと考えている。

資料の収集としては紙媒体だけでなく、電子媒体も考えているのか。

(事務局) CD-ROM やデータでの収集も検討している。

右京中央図書館においてパソコンはどのように使われるのか。

(事務局) 右京中央図書館ではパソコンを 30 台用意する予定で、使い道としてはインターネット用, 図書検索性用, ワード・エクセル用を考えている。またノートパソコンの持ち込みも可能にする予定である。

パソコンについてだが, 知っている人ばかりが殺到して知らない人が使えない状態になることを懸念する。そうならないためにもパソコンを使えない人にはボランティアが指導できるようにしたらよいと思う。

(事務局) 右京中央図書館(仮称)のアンケートのなかでもボランティアとしてパソコン指導を希望している人がいるので導入できればと考えている。

<相互貸借について>

現在相互貸借のネットワークに含まれていないウィングス京都の図書室や京都市歴史資料館の図書室等市の施設とも, 公共図書館が窓口になって相互貸借できるようにしてほしい。

(事務局) 現在他の施設とは HP にリンクをはり, どの施設にどのような本があるかわかるだけの状態である。将来的に相互貸借できればと思うが, 現在のところ物流や職員体制等に課題がある。

4 閉会